

## 令和2年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 076

学校名 千葉県立下総高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学 校 経 営	<p>1 家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す。</p> <p>2 生徒が安心して学び、一人一人が個性や能力を伸ばせる学校づくりを目指す。</p> <p>3 働き方改革の推進と勤務時間を意識した勤務への取組。</p>	<p>1 ホームページを充実させて情報の発信に努め、専門高校に対する理解向上に努める。 地域行事への積極的な参加や近隣小・中学校との連携、地域の人材の活用など地域との連携の推進を図る。</p> <p>2 社会人基礎力としての基本的な知識・技能を確実に身につけさせ、自己実現を支援する。</p> <p>3 個に応じたきめ細やかな生徒指導や生徒相談を実施し、学校行事や委員会活動、部活動の活性化を図る。</p> <p>4 産業教育の重要性を踏まえ、園芸科、自動車科、情報処理科の特色ある専門教育の推進及び資格取得の推進を図る。</p> <p>5 「学校における働き方改革推進プラン」内の学校の取組チェックリストを用い、業務改善を推進し、勤務時間に関する意識改革を行う。</p>	<p>1 ホームページの掲載内容と更新状況の確認。 授業公開、学校説明会、体験入学、小中高交流、学校開放講座、ミニ集会等におけるアンケートの結果。</p> <p>2 学校設定教科「ベーシック」の検証や校内の各種テスト等による基礎基本の定着及び進路決定率。</p> <p>3 退学者数や特別指導の人数・件数や生徒・職員・保護者等によるアンケート等の結果。</p> <p>4 生徒・職員・保護者等によるアンケートの結果。</p> <p>5 教職員の在校時間等の状況確認。教職員の勤務時間に関する意識改革の調査。関係機関との連携の構築や推進の状況。</p>
学 習 指 導	<p>1 生徒と教員とによる授業の創造、資格取得の推進。</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの実践を通じて自己肯定感の育成を図り、生徒が主体的に取り組む授業を目指し、指導の工夫と改善に努める。</p> <p>3 時代の進展に対応した教育課程の推進と教育環境の整備に努める。</p>	<p>1 生徒による学校評価アンケートの結果を踏まえた授業を行う。</p> <p>2 授業公開を定期的実施し、保護者・教員による授業参観と評価を行う。</p> <p>3 開始時間を守り適切な服装や集中した態度での授業参加の指導を行う。</p> <p>4 全教科でアクティブラーニングの視点で授業改善を図り、職員相互の授業公開及び研究授業・研修会を実施する。</p> <p>5 客観的な学力把握を各学年で実施し、その結果分析により学習成果と課題を明確にして学校全体で共有する。 さらに、課題改善のための指導の工夫・改善を実善のための指導の工夫・改善を実践し、基礎学力の定着を推進する。 生徒が自ら目指す目標を掲げ、困難な問題や未経験なことなどに取り組むように、生徒自身に目標を申告させる。</p>	<p>1 生徒による授業評価アンケートの結果。</p> <p>2 授業公開の実施回数と生徒・保護者・教職員等によるアンケートの結果。</p> <p>3 教職員等によるアンケートの結果。</p> <p>4 校内研究授業・研修会の実施回数とその状況。</p> <p>5 資格取得への取組とその結果。</p>
生 徒 指 導	<p>1 すべての教員が人権尊重の立場に立ち、あらゆる教育活動の場面を活かして生徒理解に努め、個に応じた生徒指導を推進する。</p> <p>2 委員会活動や部活動の活性化を図る。</p> <p>3 喫煙・薬物防止指導等の徹底を図る。</p> <p>4 いじめを許さない学校づくりを推進する。</p> <p>5 教育相談・人権教育の充実を図る。</p> <p>6 特別支援教育の充実を図り、すべて生徒が望ましい環境で教育が受けられるよう、指導體制の整備に努める。</p>	<p>1 登校・下校指導を通して、遅刻・早退生徒の改善、挨拶の励行、頭髪・服装指導、通学マナー指導を行う。</p> <p>2 年7回以上、生徒主体の委員会・部活動活性化行事開催。</p> <p>3 外部講師を活用した生活安全講話、人権講話等の実施。</p> <p>4 本校の「いじめ防止基本方針」に則り、いじめを許さない雰囲気醸成に努める。</p> <p>5 クラスでの個人面談実施。1学年を対象としたスクールカウンセラーとのグループ面接の実施。SCの利用促進。</p> <p>6 障害を持つ生徒に対する合理的配慮等について組織として取り組む。</p>	<p>1 登下校指導の実施状況、及び遅刻者等の延べ人数についての近年の変化状況。</p> <p>2 委員会・部活動活性化行事開催状況。</p> <p>3 講話後のアンケートや感想文での効果確認。</p> <p>4 定期的な被害調査の実施。担任との面談による情報収集。SCとの情報共有。</p> <p>5 個人面談の実施状況。スクールカウンセラーのグループ面談の実施状況及び活用状況。SCへの相談がしやすい環境を整備する。</p> <p>6 関係機関や保護者との連携を緊密に図り、的確な指導に務める。また、特別支援教育についての職員研修の充実を図る。</p>

<p>キャリア教育</p>	<p>1 発達段階に応じた勤労観・職業間の育成を図るため、計画的な進路学習やキャリア教育を推進し、生徒の希望進路の実現を支援する。</p>	<p>1 企業訪問を精力的に実施し、就職・進学等の情報収集及び就職先の開拓に努める。 2 生徒が自らの学習活動等の学びのプロセスを記述し振り返るため、キャリア・パスポートに記録するとともに将来の目標の実現に向け、職業人として望ましい職業観・勤労観、礼儀作法やコミュニケーション力を身に付けられるよう計画的できめ細かな進路指導を実践する。 3 進路説明会（外部講師等による説明会・進路ガイダンス・進路学習）を全学年に対し学年毎に実施する。</p>	<p>1 発達段階に応じた勤労観・職業間の育成を図るため、計画的な進路学習やキャリア教育を推進し、生徒の希望進路の実現を支援する。 2 就業体験やインターンシップの参加者数と資格取得への取り組み状況の確認と進路決定率。 3 進路説明会（進路ガイダンス・進路学習）の実施回数とその状況。</p>
<p>特別活動</p>	<p>1 望ましい集団活動を通じて心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 2 集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的実践的な態度を育てる。</p>	<p>1 HRや学校生活の充実と向上を図るとともに諸課題に対応するためにLHR年間活動計画を作成し、活動の活性化を促進する。 2 生徒会や農業クラブにおいて、学校生活の充実と向上を図るための年間活動計画書を作成し、活動に取り組む。</p>	<p>1 LHRの計画と実施の状況。 2 日頃の集団活動状況及び大会等での研究発表状況。</p>
<p>特色ある教育活動</p>	<p>1 産業教育の重要性を踏まえ園芸科、自動車科、情報処理科の特色ある専門教育の推進及び専門技術の定着を図る。 2 寮生活により基本的な生活習慣の確立と望ましい人間関係づくり等を図る。 3 園芸科では、農業クラブ活動を推進し、農業経営者育成を柱とした実験実習を計画的に展開する。 4 自動車科では、整備士試験の合格率を向上させるとともに、最新の整備技術を導入し習得させる。 5 情報処理科では、資格取得の充実を図り、生徒の職業意識の高揚と規律ある行動の定着を図る。</p>	<p>1 産業人としての資質向上を図る実験実習を展開する。先進的な取り組みを公開し、併せて広報活動も積極的に行う。 2 入寮時に各自に寮生活の目標を持たせ実践させると共に、皆勤を目指す指導を行う。また、外部と連携し食育を推進する。 3 園芸科では、プロジェクト学習や農業鑑定競技等の指導を充実させるとともに、外部団体との連携を図る。 4 自動車科では、個別指導や学科の教育内容の精選及び充実、新技術導入等に努める。 5 情報処理科では、資格取得のための工夫した指導と実績に直結する補習体制の確立を図る。 6 学年を超えた情報処理科生徒間の連携及び行事の実施により、職業人を目指す生徒としてのマナーと自覚を持たせる。</p>	<p>1 新規及び継続した取り組みの発展状況の確認（研究集録）と取り組みや広報の回数等。 2 入寮時及び退寮時における生徒の成長状況。 3 日本農業技術検定など各資格の合格率と上級学校への進学や農業・関連産業への就職状況。 4 自動車整備士等各資格の合格率と技術教育推進のための学習環境の整備状況。 5 生徒の学習意欲を高めるための授業内容の改善及び資格取得状況。 6 生徒の進路希望の実現状況。</p>

# 令和2年度 学校評価年間計画書

学校番号 076

学校名 千葉県立下総高等学校

課程名 全日制の課程

時期	学校関係者評価の進め方 (開かれた学校づくり委員会等の動き)	自己評価の進め方 (全職員参加による組織的な取組)	児童生徒・保護者・地域対象の活動 (情報の収集・提供, 評価結果の公表等)
4月		今年御殿重点目標, 具体的方策, 評価項目, 指標等の設定。 今年度のスケジュール案の作成。	始業式, HP, PTA, 総会等
5月			
6月	開かれた学校づくり委員会 (第1回)	県教育委員会への報告	
7月	今年度の重点目標、具体的対策、指標について今年度のスケジュールなど		
8月	開かれた学校づくり委員会による学校説明会参観等	<b>授業公開 職員相互の授業参観・研究 教員対象学校説明会 生徒対象学校説明会</b>	保護者による授業参観・アンケート
9月	開かれた学校づくり委員会 (第2回)		学校開放講座 地域受講者 アンケート実施
10月	委員会による創立周年事業の参加、学校経営、ミニ集会実施計画について		
11月	委員による行事参観 対話	<b>中学校一日体験入学 近隣小・中・高交流公開授業 職員相互の授業公開 学校公開 (文化祭) ミニ集会</b>	保護者による行事参観・アンケート実施 生徒の行事参観・アンケート実施
12月			
1月			
2月	開かれた学校づくり委員会 (第3回)	職員アンケート実施	
3月	学校が行った自己評価の結果について評価	自己評価と改善方策の検討 (教科) (分掌) (学年) 職員会議	参考資料 これまでのアンケート等 生徒のアンケート結果 保護者アンケート結果
	HP 郵送等	学校評価のまとめ 県教育委員会への報告	公表 終業式 HP 等
		次年度の目標設定と学校改善への反映を図る	